しまねの土地改良だより

2025年（令和7年）11月1日発行（Vol.155）　水土里ネット島根会報

第47回全国土地改良大会　佐賀大会
～水を利して土を活かす　さがで語ろう郷里（さと）の未来～

第47回全国土地改良大会佐賀大会が10月15日、佐賀県佐賀市の「SAGAアリーナ」で開催され、大会テーマ「水を利して土を活かす さがで語ろう郷里（さと）の未来」のもと全国の土地改良関係者約4500名が参集しました（本県からは56名参加）。主催は全国土地改良事業団体連合会・佐賀県土地改良事業団体連合会。

島根県からの参加者

式典では、佐賀県土地改良事業団体連合会の田島健一会長から、「地域の農業の将来像を関係者で共有し、土地改良事業を推進する体制を構築することが重要である」と開会挨拶がありました。続いて主催者を代表し、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長が「土地改良が築きあげてきた、水・土・里を次世代につなげていきたい」と述べられた後、山口祥義佐賀県知事、坂井英隆佐賀市長の歓迎の挨拶、笹川博義農林水産副大臣、宮原真一佐賀県議会議長、進藤金日子全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問の来賓挨拶がありました。

出雲市斐川土地改良区前副理事長
星野様（右）

次に、個人の土地改良事業への功績を称える土地改良事業功績者表彰が行われ、本県からは、前出雲市斐川土地改良区副理事長の星野勉様が農林水産省農村振興局長表彰、津和野町土地改良区理事長の平野均様が全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞されました。

続いて、農林水産省農村振興局青山健治次長による「次世代へ希望をつなぐ土地改良」と題した基調講演があり、９月に閣議決定された新たな土地改良計画についての説明がありました。

事例発表では、白石土地改良区より、事業の歴史を振り返り、地下開発で地盤沈下を受けた嘉瀬川ダムの整備や大雨時のため池の事前放流など流域治水などの紹介がありました。

二日目の筑後大堰への事業視察では、実際の筑後大堰を背景に、質疑応答や意見交換が行われました。なお、来年の第48回大会は、11月17日に奈良県の『奈良県コンベンションセンター』で開催される予定です。

■ 第47回全国土地改良大会　佐賀大会 1
■ 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム開催 2
■ 多面活動ステップアップ研修の充実に向けた意見交換会 2
■ ため池フォーラムinひろしま 3
■ 2025安来中海干拓地クリーン作戦開催 3
■ 農業農村整備事業に関する説明会開催 4
■ 11月の主な予定 4

農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム開催

10月21日（火）、「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」が東京都にて開催され、全国の多面的機能支払関係者約300名（本会から２名）とWEBにて約500名が参加しました。このシンポジウムは、高齢化等により農村地域の集落機能が低下し、地域を担う人材が限られていく中で、外部の力をどのように活用していくのかなどについて議論を深め、認識を共有するために開催されたものです。

本シンポジウムの主催者である全国土地改良事業団体連合会室本専務理事の開会挨拶の後、農林水産省農村振興局青山次長から「多面活動の未来像～活動組織に期待すること～」と題しての基調講演があり、地域共同で管理する共助がしっかりしているから個人が行う農地管理の自助もできており、多面支払いにより農村地域のコミュニティがなんとか保たれている。本制度の効果をわかりやすくPRしていくことが重要であると述べられました。その後、全国で先駆的に取り組まれている多面活動組織と外部団体とのマッチング事例などについて７組織から講演がありました。最後に、「活動組織の体制強化に向けたマッチングの仕組みの構築に向けて」と題して、パネルディスカッションが行われ、農村地域の新たな担い手確保に向けた様々な取組や工夫など大変参考となるシンポジウムでした。

多面活動ステップアップ研修の充実に向けた意見交換会

令和７年10月７日（火）に全国農村振興技術連盟の呼びかけにより中国四国農政局にて「多面活動ステップアップ研修」の充実に向けた意見交換会が開催されました。（「農村振興リーダー研修」改め「多面活動ステップアップ研修」）意見交換の趣旨として、「平成19年度から農村振興リーダー研修を開催している中、多くの活動組織の参加となるように研修内容の見直しなど、活動組織と身近な推進組織の担当から話を聞きながらヒントを得たい」と全国農村振興技術連盟の奥田委員長より説明がありました。

意見交換は、「①活動組織とのコミュニケーションを深める方法、あるべき姿、課題及び提案」、「②活動組織の現在における課題、広域化や非農家の活動参画への対応方法、活動組織が求める研修テーマ及び研修内容」、「③活動組織の将来における課題、世代交代促進のあり方、20 年後の活動組織像（あるべき姿）、活動組織にとって必要と思われる研修テーマ及び研修内容」、「④多面交付金制度に現在感じること及び将来の姿」の４つのテーマについて各県の状況や考えを発表する形式で行われました。

各県とも「次の担い手がいない」と組織からの相談を受けても解決策を提案できない現状があるということから、今後の「多面活動ステップアップ研修」では、活動組織内での話し合いの方法も含めて検討することとなりました。

本協議会も県、市町村と連携し、担い手の有無など地域状況の把握を行い、活動を継続するための方策を考えていきたいと思います。

ため池フォーラムinひろしま

令和７年 10 月 23 日（木）、「ため池フォーラム in ひろしま」が広島県の JMS アステールプラザにて開催され、各県の土地改良関係者が参集し、本会からため池担当者４名が出席しました。

今回で第 27 回目となるため池フォーラムは、「安全・安心 持続可能な農村地域のため池」をテーマに広島県が主催し、広島県の農業用ため池における防災・減災対策の取組状況やため池支援センターの取組内容等の情報共有を目的とするものです。

開会に当たり、本フォーラムの主催者である広島県農林水産局向井雅史局長による「ため池は貴重な財産であり、農業用水の確保や地域の暮らしを支える重要な役割を果たしている。この価値ある財産を活かし続けるため、課題解決に向け知見を深めよう」との宣言に続き、広島県山根健嗣副知事からは「安心して暮らせる地域づくりをすすめ、課題解決に取組んで頂きたい」と主催者を代表し挨拶がありました。続いて、農林水産省農村振興局整備部防災課　中藤直孝課長、全国土地改良事業団体連合会　二神健次郎主任研究員（二階俊博会長の代読）、広島県山下智之議会副議長ら来賓の方々から祝辞が述べられました。

その後、全国ため池等整備事業推進協議会進藤金日子副会長より、ため池管理保全法・ため池工事特措法の経緯、都道府県へのアンケート調査での課題と対応状況等の情報提供がありました。

特別講演では、オフィス気象キャスター（株）岸真弓気象予報士より、地球温暖化や天気予報の正確な把握等について、また、広島大学海堀正博名誉教授による「土砂災害防止機能も備えたため池への期待」をテーマに基調講演がありました。

引き続き、農林水産省農村振興局整備部防災課浦田憲課長補佐より、情勢報告「農業用ため池の防災・減災対策について」の説明がなされ、広島県農林水産局ため池・農地防災担当、広島県土地改良事業団体連合会及び広島県ため池支援センター等より事例発表がありました。

最後に、次回（第 28 回）開催県の岐阜県農政部若山次長が来年に向けての意気込みを述べられ、広島県農林水産局農林基盤整備担当槇原敏行部長の閉会挨拶で閉幕しました。ため池の重要性を改めて認識し、今後の業務に活かすことができるフォーラムとなりました。

2025安来中海干拓地クリーン作戦開催

10 月 11 日（土）、安来中海干拓営農連絡協議会と安来市土地改良区の主催による、「2025 安来中海干拓地クリーン作戦」が安来干拓地において行われました。

当日は晴天のもと関係団体から約 90 名の参加があり、開会式後、参加者は広大な敷地を担当エリアに分かれ、約１時間 30 分にわたり干拓地内の道路脇に投棄された空き缶やプラスチックなどのごみを拾って周り、草刈りも行われました。

干拓地内にごみの投棄が目立つと景観を損ねるとともに土地改良施設の管理に支障が生じるため、引き続き保全活動を行い、干拓地の美しい環境の維持を図っていきたいと思います。

農業農村整備事業に関する説明会開催

10月29日（水）、島根県土地改良会館において、「農業農村整備事業に関する説明会」が開催され、市町村及び土地改良区、島根県、島根県土連から総勢110名参加しました。

はじめに島根県農村整備課の傍島課長より挨拶があり、続いて農林水産省農村振興局整備部水資源課の由谷施設保全管理室長から「土地改良事業は国・県・市町村・土地改良区の情報共有が非常に大切である。令和８年度予算概算要求は前年度比118.3％増の5，281億円を要求している状況である」と述べられました。

続いて、予算説明会に入り、農林水産省農村振興局整備部設計課の池谷課長補佐より「令和８年度農業農村整備事業関係予算概算要求の概要」について説明がありました。令和７年４月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」における農業農村整備の主な位置付けや食料自給力の確保（生産性向上に向けた取組み）、農業構造転換集中対策期間内(R7-R11)の特別措置の内容等についての説明や各事業の要求内容や要件の見直し等について詳細な説明がありました。

その後第２部として農林水産省の方と市町村長及び土地改良区理事長、島根県及び県土連幹部による意見交換会、また実務担当者を対象とした新たな土地改良長期計画説明会が行われました。

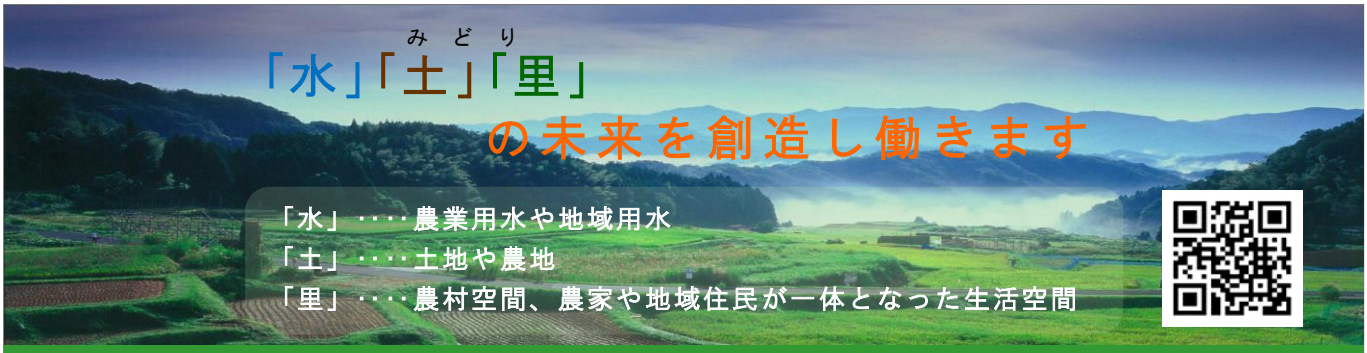
令和７年度しまね水土里ネット男女共同参画推進大会を開催します

とき：令和7年12月16日（火）13時20分～　ところ：くにびきメッセ（松江市）

※300名の出席を予定していますので、日程調整のうえ多数ご出席ください

11月の主な予定

開　催　日	行　　事　　等	開催地
11月 4日（火）～　5日（水）	男女共同参画推進大会inくまもと	熊本県
11月11日（火）～　12日（水）	農業農村整備事業意見交換会	東京都
11月26日（水）	農業農村整備の集い	東京都



水土里ネット島根　（島根県土地改良事業団体連合会）
〒690-0876　島根県松江市黒田町432-1　島根県土地改良会館　TEL 0852-32-4141
ホームページhttps://www.shimanedoren.or.jp/　メールsmndoren@shimanedoren.or.jp